

長期ビジョンと4つの成長戦略

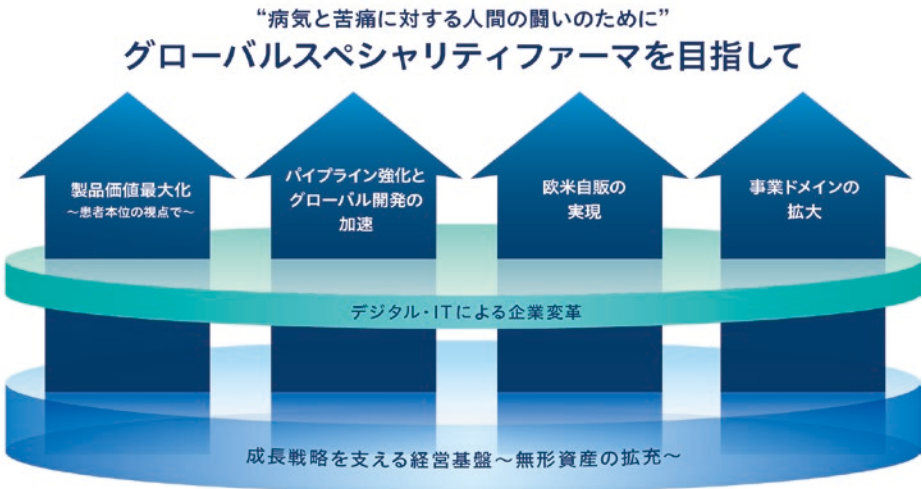
「グローバルスペシャリティファーマ」を2031年度に実現するために

医薬品業界を取り巻く環境は急速に変化しており、新薬開発やヘルスケア領域では、異業種連携による新しい価値の創出、セルフメディケーションの重要性の高まりなどのさまざまな成長機会が存在しています。当社はこうした成長機会を捉え、柔軟かつ迅速に対応することで長期的な価値を創出し、「グローバルスペシャリティファーマ」となることを目

指しています。その実現のために4つの成長戦略である「製品価値最大化～患者本位の視点で～」 「パイプライン強化とグローバル開発の加速」 「欧米自販の実現」 「事業ドメインの拡大」 に取り組み、成長戦略を支える経営基盤であるデジタル・IT基盤、人的資本、企業ブランドなどの無形資産の拡充に努めています。

経営目標 (2022～2026年度)	売上収益年平均成長率 1桁 台後半 (2021年度比)	研究開発費対売上収益比率 20～25%	売上収益営業利益率 25% 以上を維持
-----------------------	---------------------------------------	-------------------------------	-------------------------------

4つの成長戦略と経営基盤



製品価値最大化～患者本位の視点で～

患者さんとそのご家族のウェルビーイング（心身的・社会的・生活満足度が満たされている状態）の実現に、医療従事者と共に挑み、その結果として新薬が医療現場に速やかに浸透している状態を目指しています。

マーケティングでは医療課題に対して医療従事者とともに患者さん視点で取り組む人財を育成するとともに、デジタルを活用して効果的かつ効率的な情報提供・収集を行うことで、製品価値を最大限引き出せるように取り組んでいます。

開発では重要戦略分野であるオンコロジー領域を中心に100近くの臨床試験を実施しています。製品の適応症、治療ライン、併用療法の拡大による製品価値の最大化を目指しています。 [P.40参照](#)

開発パイプライン強化とグローバル開発の加速

当社は「グローバルスペシャリティファーマ」を目指し、医療ニーズの高い、がん、免疫疾患、神経疾患において、疾患ノウハウを蓄積し、革新的な医薬品の創出に取り組んでいます。また、世界をリードする大学や研究機関、バイオベンチャー企業との研究・創薬提携を強化し、ファーストインクラスが狙える独自性の高いパイプラインの拡充を図っています。さらに多様な創薬モダリティを活用し、独自性の高い自社創薬を進めるとともに、非臨床や臨床試験のデータを用いた創薬標的の検証やトランスレーショナル研究を強化し、研究開発の確実性の向上に努めています。現在、11のグローバル開発プロジェクトが臨床段階にあり、ONO-4059をはじめとして複数の開発を加速させていきます。 [P.30参照](#)

欧米自販の取り組み

成長戦略として欧米自販に注力しています。韓国、台湾では現地法人を設立して自社製品の販売を開始しており、欧米では、ONO-4059をはじめとした複数のプロジェクトの販売を見据え、自社販売体制の整備に努めています。

2024年6月にDeciphera社を買収し、Deciphera社が保有するがん領域における承認／申請済みの2つの製品、開発段階にある3つの化合物を獲得し、パイプラインを拡充しました。当社はDeciphera社の優れた研究開発能力と欧米での販売力を活かし、当社グループのグローバル展開をより一層加速させるよう取り組んでいきます。 [P.38参照](#)

デジタル・ITによる企業変革

デジタル・ITの活用を機能横断的に推し進め、成長戦略の加速、事業プロセスの革新、新たな価値創造（DX）を実現できる企業への変革を目指します。そのために、社内外のデータ活用環境と独自の視点によるデータ分析能力、最新テクノロジーに支えられた柔軟なIT基盤の整備を進めています。社内外のデータを活用し、ビジネス上の課題や新しい機会を適時的確に検知・判断し、ビジネス変革の構想に反映・実装していきます。 [P.51参照](#)

事業ドメインの拡大

拡大するヘルスケア分野のニーズを捉え、新たな価値を提供し続けるために医療用医薬品の研究開発で培った資産を活かした商品やサービスの開発を行い、事業ドメインの拡大に取り組んでいます。

機能性表示食品睡眠サプリメント「REMWEELL（レムウェル）」を発売し、がん（大腸がん、胃がん）患者さんの告知直後の心のケアや医師の話を理解するためのヘルスケアリテラシー向上をサポートするツール「michiteku」β版を提供しています。さらに、小野デジタルヘルス投資合同会社を設立し、ヘルスケア分野のベンチャー企業への投資活動を通じて、新たな事業の創出と拡大を目指しています。 [P.52参照](#)

成長戦略を支える経営基盤～無形資産の拡充～

人的資本、企業ブランド、デジタル・IT基盤等の無形資産の拡充により、4つの成長戦略を支え、飛躍的な成長を目指します。人的資本は、多様性の向上に注力しながら、全社横断的な人財の育成と各成長戦略を推進する人財の育成を図ります。また、欧米展開での課題である企業認知度の向上については、企業ブランドの浸透を進めることで、企業価値の向上に取り組めます。 [P.44参照](#)

研究開発投資

持続的な成長に向けて独創的かつ画期的な新薬の創製を目指すとともに、開発パイプラインの拡充を実現するために積極的な研究開発投資を行っています。

